

本の森 1月号



丹波篠山市立中央図書館通信 No. 197 2022年1月1日 発行

今月の特集

笑う門には・・・

明けましておめでとうございます。今年もたくさんのご利用をお待ちしています。

新型コロナウイルスの終息が見えない年越しとなりましたが、明るいニュースが欲しい昨今です。笑顔を絶やさなければ明るい未来が待っているはず。必ず笑える・きっと笑える・たぶん笑える・・・本、集めてみました。

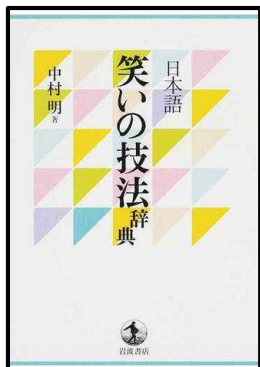
『日本語笑いの技法辞典』

中村 明 著 岩波書店 R816.03 ナ



著者は『角川新国語辞典』の編集委員などを務める日本語学者で、作家の文章を読み解く文体論の専門家です。笑いの発想と表現を12類287種に分類し、引用は明治の文豪から最近のお笑い芸人まで、その収集の幅の広さに驚きます。そもそも笑いが分類できるなんて・・・。著者曰く、『言葉の繰り返しや婉曲語法、^{えんきよく}比喩に駄洒落、誇張など。少しでも手続きが違ふと思つたら分けた。こんなに種類が多くなるとはびっくり』とのこと。言葉によってもたらされるおかしさにはワケがあります。それを解明した本作は、著者の辞典3部作であり、辞書の集大成となるそうです。

本書は辞書とはいえ読み物として十分読みごたえがり、笑いをおさえながら読む辞書はめったにないのではないのでしょうか。また、少し変わったおもしろい表現をお探しの際にもおすすめです。（小土井）





マークデザイン
加藤昌男

『傑作！名手たちが描いた 小説・鎌倉殿の世界』 安部 龍太郎 ほか著 宝島社 BFケツ

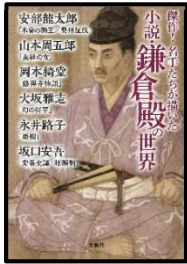
— 鎌倉殿とは、源頼朝から始まる鎌倉幕府の棟梁のこと。

広義では鎌倉幕府自体をさす —

2022年の大河ドラマは、三谷幸喜の脚本による「鎌倉の13人」。天下を取り鎌倉幕府を立てた源頼朝を支援していたのは13人の家臣。頼朝の死後18歳で二代目将軍になった頼家だが、実質「13人の合議制」という名のもと集団指導体制により「政」がおこなわれる。ひいては権力争いと発展し、身内同士で血を流しあう激しい内部抗争が繰り広げられることとなる。最後に笑うのは・・・。

本書は、名だたる歴史小説家が、この時代・鎌倉殿を題材にとり執筆した短編小説を、アンソロジーとして収めたものです。名匠による名將の物語。歴史小説がお好きな方に、また大河ドラマをより楽しむための副読本としてもおすすめの一冊です。(酒井)

文学の棚から



やなぎおねよし

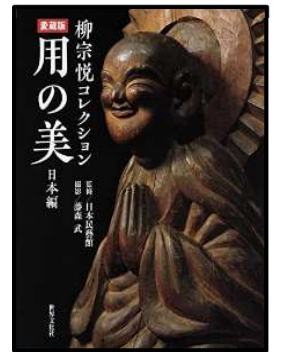
『柳宗悦コレクション 用の美日本編』

日本民藝館監修 世界文化社 750.87ヨ

日本民藝館が東京駒場に開館したのは、昭和11年です。大正15年に記された「日本民藝美術館設立趣意書」には、柳宗悦、浜田庄司、河井寛次郎、富本憲吉の4人が名前を連ね、彼らにより「民藝」という言葉が新たに造られました。寄付を募りながら10年ほど蒐集が進められ、大谷石を用いた建物が完成しミュージアムとして公開されて85年が経ちます。

本書は写真に重点が置かれた一冊で、土門拳の弟子である藤森武により撮影された日本民藝館の所蔵品が多数掲載されています。李朝ほか海外編との2冊に分けて刊行されました。陶磁器・染織・ガラス・木工・漆工・金工・石工・絵画・拓本などのコレクションを見るだけでもよし、学芸員による解説で知見を広めるもよしの一冊です。(栗田)

一般書の棚から



郷土資料の棚から

【たんばささやま「まめ」知識】

このコーナーでは、丹波篠山にまつわる本を紹介します。

古より、人々は五穀豊穡・天下泰平等々の願いが神々に届き叶えられるよう、唄や囃子や舞を編み出し奉納しました。

ところで、私たちの住む丹波地方には一体どれくらいの伝統的行事や祭があるかをご存知でしょうか？

本書には、丹波地方の祭りや民族芸能が、旧多紀郡と旧氷上郡の各町ごとにまとめられ、写真とともにその内容が詳細に記載されています。次代を背負う若い世代に本書出版の意図が正しく認識され、新しい丹波づくりの一助となれば・・・と編者は綴っています。(酒井)



「丹波の祭と民俗芸能
ふるさと心の祈り」
丹波文化団体協議会 // 編
(郷土) E4/O1 タ

Y onde M ite

よ ん で み て

『Yonde Mite』のコーナーでは利用者の方から寄せられたお勧めの一冊を掲載します

『権力は腐敗する』
前川 喜平 著 312.1マ
2021.09 出版



著者が文部科学省事務官
だった時に知り得たことを
明らかにしようとした一冊。
権力腐敗の実態を知る一冊。
ペンネーム 周五郎ヴァン

『迷いを去る百八の智慧』
ほういん
山田 法胤著 188.21ヤ
2009.11 出版



奈良薬師寺の元館長、山田
法胤長老の法話録、記事をま
とめられた活きる指針。
ペンネーム CHIKO

『やさしい猫』
中島 京子 著 Fナカ
2021.08 出版



入国管理制度の問題点や人
権について問いかける一冊。
弁護士や入管元職員が執筆を
助けてくれたという。
ペンネーム 珊瑚水木

『7.5グラムの奇跡』
砥上 裕将 著 Fトガ
2021.10 出版



視能訓練士というめずら
しい職業の主人公。働き学
びながら「見える」ことの大切
さを実感し成長していく。
ペンネーム YOU

『命あれば』
瀬戸内 寂聴 著 914.6セ
2019.08 出版



当時 97 歳の著者が過去
30 年以上にわたって「京都新
聞」に連載したものを書籍化。
毎回筆を洗うような気持で緊
張して書き続けたと語る。
ペンネーム 樽平

『よろしゅうおあがりⅠ・Ⅱ
ささやまごはん、ごちそうさま。』
篠山市立中央公民館 著 Z5/00/サ
2017.03・2021.03 出版



以前本の森で紹介されま
した。とてもよかったので、
この 2 冊を購入して結婚の
お祝いにしました。
ペンネーム 野の花



映画上映会のお知らせ

入場無料
申し込み不要

「刑事ジョン・ブック 目撃者」

1985年・アメリカ 112分・日本語字幕

- 監督 ピーター ウェアー 監督
- 出演 ハリソン フォード 他 出演
- 日時 1月8日(土) 15:00~17:05
1月14日(金) 14:00~16:05
- 場所 中央図書館 視聴覚ホール

殺人事件を目撃した少年とその母親。二人は、宗派に背くことなく戒律を重んじ前近代的な営みを続け、現代文明を拒絶して生きるアーミッシュと呼ばれる人々の出身だった。犯人から銃撃された担当刑事ジョン・ブックは、ふたりを守ろうと傷つきながらも親子を村へ送り届ける。体が治るまで滞在しアーミッシュの人々と触れ合うが、敵の刺客も迫っていた・・・。

図書館カレンダー



行事予定

日	月	火	水	木	金	土
						1 休
2 休	3 休	4 休	5	6	7	8
9	10 図書館の日	11 休	12	13	14	15
16	17 休	18	19	20	21	22
23 30	24 休	25 休	26	27	28	29

【中央図書館】

- ★ 毎月10日は丹波篠山だけ図書館の日
全館：1/10(月) 終日
- ★ 「HCひょうごハーツ活動写真展」
展示ホール：1/8(土)～22(土)
- ★ 「映画上映会」
視聴覚ホール：1/8(土)・14(金)
- ★ 「農都環境課パネル展」
展示ホール：1/28(金)～2/11(金)

「わたしの一番 2021」



たくさんの投票をいただき
ありがとうございました。

皆様に投票いただきました“一番”は
2022年2月下旬(予定)に例年通り
一覧表にて発表いたします。

としょかんまつり実行委員会

昨年末のとしょかんまつり・クリスマスイベントでは、たくさんの利用者の方々にご協力いただき、ありがとうございました。楽しいイベントができたことに感謝しています。只今、展示していた「サンタさんへの手紙」を返却していますので、該当される方は職員までお申し出ください。

また「泣いている本のアイデア募集」には貴重な、前向きなご意見をたくさんいただきありがとうございました。ぜひ参考にさせていただきます。

本年もよろしくお願いいたします。

丹波篠山市立図書館 職員一同